

2010年10月の発受電速報

<発受電電力量>

1. 全国の概要

10月の発受電電力量は、産業用需要が堅調に推移していることなどから、10社計で755.1億kWh、前年同月比102.4%となった。

(主な内訳)

「水力」：出水率が前年同月値を上回ったことなどから、41.9億kWh、前年同月比121.8%となった。

「火力」：水力、原子力発電電力量が増加したことなどから、340.9億kWh、前年同月比96.5%となった。

「原子力」：設備利用率が前年同月値を上回ったことから、242.6億kWh、前年同月比111.4%となった。

(参考 日本原電除きの設備利用率：当年度70.5%、前年度64.5%)

<出水率>

沖縄を除く9社計では94.0%となった。

2. 発受電電力量実績の概要(10社計)

(単位：千kWh, %)

	当 月		至近3か月の対前年同月増加率			
	実 績	対前年同月増加率	9 月	8 月	7 月	
発受電電力量	75,513,828	2.4	11.8	13.3	7.7	
発電内訳	水 力	4,193,172	21.8	32.1	0.1	10.9
	火 力	34,094,434	3.5	15.2	21.1	6.6
	原子力	24,258,851	11.4	4.2	5.3	6.8
	新エネルギー等	180,745	5.8	20.2	15.7	17.3
他社受電	13,456,353	1.1	13.7	12.3	12.0	
揚水動力	669,727	92.6	95.1	41.1	20.1	
出 水 率	94.0	(前年同月値) 82.2	87.8	100.5	117.0	
原子力設備利用率 (含む日本原電)	72.3	(前年同月値) 63.5	66.7	70.2	70.0	

注：電気関係報告規則等の一部を改正する省令により、2010年5月分より以下の変更を行っています。

- ・発電内訳に「新エネルギー等(風力、太陽光および地熱等)」の項目を新設
- ・地熱発電電力量を「火力発電」から「新エネルギー等」に区分変更
- ・「揚水動力」の項目を新設

なお、「火力」、「新エネルギー等」および「揚水動力」における対前年同月増加率は、当月および至近3か月ともに、前年同月実績を変更後の区分にあわせて算定しています。

3. 発受電電力量の対前年同月増加率

(単位：%)

	2009年度	10	11	12	10/1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
10社計	3.3	5.0	2.8	1.3	3.0	7.3	7.4	9.2	4.1	5.6	7.7	13.3	11.8	2.4

(注) 1. 2010年9月までは確報値 2. : 前年同月比マイナス

(参考) 燃料実績:10社計(10月)

	石炭(t)	重油(kl)	原油(kl)	LNG(t)	ナガ(kl)
受入	4,187,464	319,033	125,104	3,246,570	0
消費	4,081,963	264,303	79,404	2,965,308	0